

## 2. 社会教育主事について

### (1) 概要

社会教育主事は、都道府県・市町村などの地方公共団体の教育委員会事務局に置かれる専門的教育職員である。その職務は、「社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える」と規定されている（社会教育法第9条の3）。したがって、社会教育主事は、地域における住民の自主的な学習活動・文化活動などの発展のために寄与することを基本的任務とする。

制度的にいえば、社会教育の分野における指導助言行政を主たる任務とするが、条件整備についても専門的立場から参画することになる。

社会教育主事は、法的には、都道府県・市町村に必置制となっているが、現実には、なお未設置の市町村も相当あり、今後の充実が望まれている。なお、公民館・青年の家等々の社会教育施設の専門的職員として、社会教育主事有資格者を充てる市町村は近年次第に増加している。

また、健康、環境、国際交流、地場産業などを主任務とする各行政部門が行う市民への学習機会提供に際して、社会教育主事が協力する場合も増え、「生涯学習主事」と名称を変更して、より広く配置するという構想もある。

本学では、社会教育主事の資格取得のための科目を1964年度より開設している。これを修得して卒業した者は、地方公共団体の教育委員会に採用され、同事務局で一年以上にわたって社会教育主事補<sup>※1</sup>を経ることにより、社会教育主事として任用されることができる。

#### ※1 社会教育主事の資格要件の緩和（平成13年7月11日施行）

従来は「社会教育主事補」の経験のみに限られていた社会教育主事となるための実務経験の範囲を、「社会教育に関係ある職」及び「社会教育に関係のある事業における業務」に拡大することにより、大学において専門科目を修得した者を社会教育主事として登用しやすくするものである。

### (2) 資格取得について

社会教育主事の資格を得るためには、「大学に2年以上在学して62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で」次の「イからハまでに掲げる期間を通算した期間が1年以上になるもの」「イ 社会教育主事補の職にあった期間 ロ 官公署又は社会教育関係団体における社会教育に関係のある職で文部科学大臣の指定するものにあった期間 ハ 官公署又は社会教育関係団体が実施する社会教育に関係のある事業における業務であって、社会教育主事として必要な知識又は技能の修得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに従事した期間（イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。）」であることが必要です。なお、「時代の進展に即応し得る資質・能力を備えた社会教育主事の養成を図る」趣旨から、1987年2月、旧文部省（現文部科学省）が一部改正しました。下記の課程表（表1）に従って科目の修得を進めてください。

### (3) 資格取得手続方法

前記(2)の要件を満たした者で、希望する者には法政大学が、社会教育主事資格単位修得証明書を交付します。交付申請方法は他の証明書（卒業証明書等）と同じです。

## 課 程 表

(表1)

法令上の科目名	法令上の単位	授 業 科 目	備考	単位	必修選択の別
生涯学習概論	(4)	生涯学習入門Ⅰ		2	必修
		生涯学習入門Ⅱ		2	
社会教育計画	(4)	社会教育計画		4	必修
社会教育演習 社会教育実習 又は社会教育課題研究	(4)	社会教育演習		4	必修
社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	(4)	現代社会と社会教育Ⅰ (学びの場としての東アジア)※4		2	必修
		現代社会と社会教育Ⅱ (国際社会とリテラシー)※4		2	
社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)	(4)	図書館・情報学概論	2011年度以前入学者のみ。	4	4単位 以上 選択 必修
		図書館情報学概論Ⅰ	2012年度以降入学者のみ。	2	
		図書館情報学概論Ⅱ	2012年度以降入学者のみ。	2	
		博物館概論	2012年度履修者より科目変更。 2011年度以前修得者は 「博物館学Ⅰ」(2単位)※1。	2	
		博物館資料論	2012年度履修者より科目変更。 2011年度以前修得者は 「博物館学Ⅲ」(2単位)※1。★	2	
		社会教育活動Ⅰ (エスニシティーとジェンダー)※4		2	
		社会教育活動Ⅱ (成人と高齢者)※4		2	
		教育社会学Ⅰ ※3		2	
		教育社会学Ⅱ ※3		2	
博物館情報・メディア論	2012年度履修者より科目変更。 2011年度以前修得者は、「視覚教育 (メディア教育論)」(4単位)。	2			
社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)	(4)	教育原理 ※2		2	4単位 以上 選択 必修
		教育の制度・経営※2		2	
		職業指導(仕事の場と学び)		4	
		現代生活・文化と社会教育Ⅰ (東アジアと生活)※4		2	
		現代生活・文化と社会教育Ⅱ (生物多様性と社会教育)※4		2	

※1 1996年度以前に履修した博物館学は使用できません。

2002年度以前に「博物館学Ⅰ」(4単位)を履修済みの方は、「博物館学Ⅰ」と「博物館学Ⅲ」を履修済みとみなします。

※2 2005年度以前に「教育原理」(4単位)を履修済みの方は、「教育原理」(2単位)と「教育の制度・経営」を履修済みとみなします。  
2006年度以前に「教育原理Ⅱ」履修済みの方、2007年度に「教育原理Ⅱ(教育の制度・経営)」履修済みの方は、「教育の制度・経営」を履修済みとみなします。

2007年度以前に「教育原理Ⅰ」を履修済みの方は、「教育原理」(2単位)を履修済みとみなします。

※3 キャリアデザイン学部生のみ履修できます。

※4 履修登録画面や「履修登録科目確認通知書」、「成績通知書」等には、かっこ( )書きは表示されません。

[キャリアデザイン学部生へ]

★ 2003～2006年度入学生は、この資格科目「博物館学Ⅲ」はCD学部専門科目「博物館学Ⅱ」です。